

報道関係者各位

2017年8月7日

慶應義塾大学 SFC 研究所
三条市

三条市と慶應義塾大学 SFC が「地方創生に関する連携協力協定」を締結

— 「三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」など、
「スポーツまちづくり」をテーマに連携事業を推進。

地域での実学に挑戦する「地域おこし研究員（大学院生・進学希望者）」を募集します —

三条市（市長：國定勇人）と慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）の2学部・1研究科・1研究所（総合政策学部（学部長：河添健）、環境情報学部（学部長：村井純）、大学院政策・メディア研究科（委員長：清木康）、SFC研究所（所長：飯盛義徳）：以下、慶應SFC）は、2017年8月9日、相互に連携協力することにより、**活力ある地域社会の形成、未来社会を先導する人材育成及び実学の促進**に寄与することを目的とする、「**地方創生に関する連携協力協定**」を締結します。

8月9日、三条市にて、三条市代表（國定勇人）と、慶應SFC代表（河添健）による調印式ならびに関係者列席による記者会見を行います。

三条市や「スポーツまちづくり」に取り組む地域団体と、慶應SFCは、2013年度から「スポーツのちから」や「地域資源の調査」などに関する研究や実践活動に協働で取り組んできました。

今回の連携協力事業の第一弾として、「**スポーツまちづくり**」をテーマに活動することとし、三条市と慶應SFC（SFC研究所）が中心となり、共同で「**三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト**」などを発足させ、地域団体や企業等に協力を呼びかけて推進をします。また、大学院政策・メディア研究科（社会イノベータコース）の修士課程や博士課程等にて研究をしながら、三条市での「スポーツまちづくり」や「スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」の推進や研究開発に従事する「**地域おこし研究員**」を募集します。

【三条市と慶應SFCによる「地方創生に関する連携協力協定」について】

1. 概要

（目的）

この協定は、三条市と慶應SFCが密接な連携の下、相互に連携協力することにより、活力ある地域社会の形成、未来社会を先導する人材育成及び実学の促進に寄与することを目的とします。

（連携協力事項）

三条市と慶應SFCは、前項の目的を達成するため、次の事項について連携し、協力をします。

- (1) 三条市の地域資源を活用した地域活性化に関すること
- (2) 三条市の地域振興に係る研究・教育活動に関すること
- (3) 地方創生や社会イノベーションを担う人材育成に関すること
- (4) 両者の知的、人的および物的資源の活用に関すること
- (5) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

2. 協定締結式

日時：2017年8月9日（水）13時～14時 ※ 締結式の後、記者会見を行います。

場所：三条市役所 3階 第一会議室（新潟県三条市旭町二丁目3番1号）

出席者（予定）： 三条市

國定勇人（三条市長）

若山 裕（三条市副市長）

柴山昌彦（NPO ソーシャルファームさんじょう理事長）

慶應SFC 河添 健（総合政策学部長）

玉村雅敏（総合政策学部教授、SFC研究所社会イノベーション・ラボ代表）

松橋崇史（SFC研究所上席所員、「三条市スポーツまちづくりプロジェクト」担当）

3. (参考)「三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」について

「スポーツまちづくり」は、地域全体のサービス生産性の向上や投資の促進などの可能性を持つ、地方創生における重要なテーマ領域です。

三条市や地域団体と、慶應 SFC は、2013 年度から、「スポーツのちから」や「地域資源の調査」などに関する研究や実践活動に協働で取り組んできました（下記）。

- 三条市における「公共スポーツ施設」を通じた地域活性化の調査研究（2013 年度）
- 三条市における大学野球サマーリーグの開催（幹事校：慶應義塾大学）（2015 年度～）
- 三条市下田地域の未利用資源の調査分析（2016 年度）
- 障害者スポーツを支える用具開発（2016 年度～）

その実績をもとに、さらなる推進と成果の実現に取り組むものとして、三条市と慶應 SFC の連携協力協定による事業の第一弾として、「スポーツまちづくり」をテーマに活動することとし、三条市と SFC 研究所（社会イノベーション・ラボ）が中心となり、「三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」などを発足させ、地域団体や企業等に協力を呼びかけて推進をします。

このプロジェクトは、三条市の「まちづくり」や「ものづくり」「ひととしごとの好循環づくり」に関わる多様な地域資源（自然資源、スポーツ施設、公共施設、空き家、金属加工等の技術、様々な人材など）を活用して、スポーツコンテンツを企画・展開し、三条市ならではの「スポーツまちづくり」に挑戦し、関係人口や特色ある交流人口の増加、地域全体のサービス生産性向上、地域活性化などを誘発することを期待するものです。その具体例として以下の活動を想定しています。

- ① 自然体験合宿プロジェクト：下田地域の自然環境を活かした合宿プログラムを開発・実践し、その効果を検証する。
- ② トップアスリートサービス開発プロジェクト：プロ選手や日本代表クラスの選手と協働で新たなサービスコンテンツやプログラムを開発・展開し、その効果を検証する。
- ③ パラスポーツ用具開発プロジェクト：「ものづくりのまち」三条の技術を活かしたパラリンピック種目の用具開発の支援およびその波及効果の分析を行う。
- ④ 大学スポーツ支援プロジェクト：大学スポーツの育成世代の強化ニーズに合うプログラムを開発・展開し、地域と大学スポーツへの影響を検証する。

4. (参考) 三条市「地域おこし研究員」の募集・任用

三条市では、三条市での「スポーツまちづくり」や「三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」の推進や研究開発に取り組む「地域おこし研究員」を募集します。また、三条市は、地域おこし研究員の活動や遠隔学習、コラボレーション等の拠点となる「慶應義塾大学 SFC 三条サテライト」を整備します。

「地域おこし研究員」は、慶應 SFC（SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ）や鹿児島県長島町・広島県神石高原町・三条市などが共同で提唱・推進するもので、総務省「地域おこし協力隊」制度等を活用し、地域に在住しながら、地域の地方創生に資する実践的な研究活動を行う大学院生等を対象に、自治体の選考により任用するものです。※ 他の地域や組織でも準備・検討されています。

慶應 SFC では、大学院政策・メディア研究科（社会イノベータコース）にて、地域おこし研究員に対して、遠隔と対面の助言や研究指導を行い、実践的な研究成果を達成できるように支援します。また、各種の講義や演習を Eラーニングやビデオ会議のシステムを用いて、遠隔受講できるようにすることや、現地での実践的な研究活動を行いながら学ぶからこそ、効果的に学習できる授業設計を行います。

三条市での「地域おこし研究員」は、研究員が自ら設定したミッションを起点に、慶應 SFC の指導・助言のもと、三条市での「スポーツまちづくり」や「三条市スポーツまちづくり×ものづくりプロジェクト」の推進、未来を先導する研究開発に挑戦することを期待しています。

その募集や任用に関する詳細は、慶應 SFC 「地域おこし研究員」Web サイトや、説明会（8/30(水) 18:30 より慶應義塾大学三田キャンパス大学院棟 313 教室で開催）にてお知らせします。

参考：「地域おこし研究員」Web サイト (<http://si.sfc.keio.ac.jp/si-researcher/>)

参考：『地域おこし研究員』第3回説明会・個別相談会 (<http://si.sfc.keio.ac.jp/si-researcher/news/007/>)

<本件に関する問い合わせ先>

- 三条市 市民部地域経営課コミュニティ推進係（電話）0256-34-5624（担当：佐藤・田村）
- 慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ（電話）03-4590-0444
（E-Mail）tama-lab@sfc.keio.ac.jp（担当：菅井・稲垣・松橋）